

フィリピンから16名の新規 JET-ALT が日本へ！ ～来日前研修等への参加及び大学での JET 広報を実施～

シンガポール事務所

1 2017 新規来日の JET 参加者

2016 年に JET プログラムの英語圏となったフィリピンでは、今年新たに 16 名が ALT として来日します。

7 月 30 日（日）の日本への渡航を前に、7 月 25 日（火）にマニラ日本人学校で英会話教室の見学会、26 日（水）に在フィリピン大使公邸でオリエンテーションと歓送会が開催されました。

（1）日本人学校での英会話授業の見学会

マニラ日本人学校は、1968 年に開校した小中一体校で約 400 名の児童生徒が在籍しています。英会話教室が小学校で週 2 時間、中学校では週 1 時間（別途、英語の授業あり）行われており、児童生徒の英語能力に応じて各学年で 6 クラス編成されています。

今回は、中学 3 年生と小学 5 年生の様々なクラスの授業を見学しました。16 人の新規 JET 参加者は全員が ALT であり、真剣な面持ちで見学しており、グループワークなどにも積極的に参加していました。

また、授業見学のあとは、同校の校長及び教頭先生のほか現地英会話教員も交えた意見交換会が行われました。日本人教員とのコミュニケーションの取り方や、日本人の児童生徒へ英語を教えるコツ、教材の準備方法など、より具体的な質疑も出され、授業見学の成果が表れていました。



マニラ日本人学校での授業見学

このように在フィリピン日本国大使館では、来日前の JET 参加者に対して、日本の学校や英会話や英語授業の風景や ALT として勤務する姿をイメージしやすくするために同校と連携した事前の授業見学会を開催し、しっかりと準備して新規 JET の送り出しを行っています。



意見交換の様子



フィリピンの新規 JET 参加者

(2) オリエンテーション及び歓送会

オリエンテーションでは、国際交流基金より、日本文化の概要や日本人との付き合い方、日本人とフィリピン人の考え方の違い、本音・建て前・社交辞令、関係修復の仕方、「すみません」の使い方などに関する説明が行われました。

また、在フィリピン日本国大使館より、日本での生活アドバイス（時間厳守、挨拶、名刺交換、食事及び飲み会のマナー、お土産文化）や7月30日の日本への渡航へ向けた注意



オリエンテーションの様子

事項に関する説明が行われました。

その後開催された歓送会では、石川在フィリピン日本国大使の開会挨拶の後、パトリシア・リクアーナン高等教育委員会委員長の乾杯の挨拶が行われ、参加者への祝辞やJETプログラムが両国の友好関係への寄与などの期待が述べられました。



2 大学でのJETプログラム広報

2016年からJETプログラム英語圏となったフィリピンでは、今後多くの参加者が見込まれます。より優秀な人材に応募していただくために、クレアシンガポール事務所では、フィリピン国内の大学へのJETプログラムの広報に力を入れています。

フィリピン国内にあるデラサール大学とアテネオ大学という2つの私立大学でJET広報を行いました。両大学からはJETプログラムに対する理解と支持をいただき、来年度の募集に合わせて、学生向けに広報機会をいただけるなど、長期的な協力関係を築くことができました。



デラサール大学にて



アテネオ大学にて

(新居所長補佐 東京都江東区派遣)